

事務事業評価表(既存事業)

コード 8-5-1	事務事業名 コミュニティバス運行事業	所管部課 都市整備部交通計画課					
事務事業の概要	事務事業の目的 交通不便地域の解消と公共施設への利便性の向上を図り、市民の交流を促進するため、コミュニティバスを運行する。また、運行に当たっては、鉄道駅への接続性を向上させ、乗車人員の増加と商店街への誘客に努める。	総合計画上の位置づけ (政策)安全で快適に暮らすまちづくり (施策)道路・交通の整備(安1-2) (主要施策)コミュニティバスの運行					
	実施内容、実施方法 バス事業者と協定を結び、市内5路線を運行する。 (バスの運行は市内2つのバス事業者が行う。市はバス事業者との協定に基づき、バスの運行に係る経費と利用料金収入の差額における赤字分を補助金として補填する。)	根拠法令等 西東京市内連絡バス運行補助金交付要綱					
	事業開始時期 平成 13 年度	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()					
評価指標の設定	活動指標名 運行本数	活動指標の考え方(定義) 1年間の運行本数					
	成果指標名 利用者数	成果指標の考え方(定義) 年間利用者数					
事務事業データ		単位	14年度	15年度	16年度	17年度	
	事業費(A)		154,163	145,980	147,695	139,345	
	国庫支出金	千円					
	都支出金		50,007	24,240	34,074	17,900	
	地方債						
	その他						
	一般財源		104,156	121,740	113,621	121,445	
	所要人員(B)	人	1.5	1.5	1.5	1.5	
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	12,369	12,410	12,492	12,492	
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	166,532	158,390	160,187	151,837	
	単位当たりコスト (E)=(D)/(運行本数(年間))	千円	2.04	2.00	1.93		
	歳入	千円	64,267	81,660	101,386	112,028	
	活動指標	目標値	本数	81,661	79,249	82,835	85,797
		実績値	本数	81,661	79,249	82,835	
活動指標	目標値						
	実績値						
成果指標	目標値	人			1,091,258	1,120,289	
	実績値	人	765,208	1,074,752	1,175,898		
成果指標	目標値						
	実績値						
事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	運行に関しての謝辞もいただくが、便数の確保・ルートの拡充・定時制の確保等の要望がある。					
	国・都・他市・民間等 における類似事業	各市コミュニティバス事業(武蔵野市:ムーバス、小平市:にじバス、三鷹市:シティバス、東村山市:グリーンバス等)					
	運営上の制約条件・ 外部要因等	一般乗合旅客自動車運送事業(道路運送法第4条免許)により運行している。また、車両制限令により第1・第4ルートで使用できる車両について、車幅により制限されてしまう。					

コード 8-5-1	事務事業名 コミュニティバス運行事業	所管部課 都市整備部交通計画課
--------------	-----------------------	--------------------

事業所管部評価	項目	評価結果	判断理由、説明等
	実績	<input type="checkbox"/> 極めて良好 <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	全体としての利用者数は着実に伸びているが、第1・第4ルート of 車両修繕費による経費の増加が著しい。国産車では、車幅で車両制限令に抵触するため、外国製の車両を用い運行している。
	必要性	<input type="checkbox"/> 増大 <input checked="" type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	市内の交通空白地域を解消し、利便性を是正するための必要性は変わらない。
	効率性	<input type="checkbox"/> 大きく改善 <input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	第1・第4ルートは、狭隘な道路を運行するため外国製の車両を導入しているが、国産車両に比べ約10倍の修繕費がかかる。 また、市民要望の運行本数を増すためには、車両の導入及び人件費の増大が考えられ、経費が増大する。
	公平性	<input type="checkbox"/> より充実 <input type="checkbox"/> 問題なし <input checked="" type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	受益者負担の考えからすると、現行料金の2～2.5倍にしなければならない。
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	高齢者・障害者等の外出機会の拡充、交通利便性の格差是正等から、継続実施することが望まれる。国産メーカーに問い合わせても、車両制限令に抵触しない車が開発されないため、道路整備の進捗状況にあわせ、随時検討していく必要がある。

17年度における改善点	
-------------	--

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	今後、フォローアップ調査の実施結果を踏まえて、より良いコミュニティバスの運行方法等について、検討する。
--------	---	---

<p>評価の視点</p> <p>実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など</p> <p>必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など</p> <p>効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など</p> <p>公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など</p> <p>総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。</p> <p>拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。</p> <p>継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。</p> <p>改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。</p> <p>抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。</p> <p>廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。</p>	
---	--